

授業科目(ナンバリング)	学際連携研究 (AD114)			担当教員	谷口佳菜子・野田健・柴田哲雄 小田和人・高崎伸也・出口雄也 岩永真理恵		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
テーマ：(他の専門分野・他職種等との) 連携 1. 本学に設置された4学科の専門分野の概略や課題について説明することができる。 2. 自分の専門分野と他の専門分野が連携することで広がる可能性について意見を言うことができる。 3. 与えられたテーマについてグループの一人として、発言、傾聴、検討する役割を担うことができる。 4. 専門や考え方の多様性について理解し、相互に認め合うことができる。							⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	本学の専門分野の概略を理解できる。				課題レポート	60%	
情報収集、分析力	(1) 自分の専門分野だけではなく他の専門分野についての情報を意欲的に収集することができる。 (2) 他の専門分野との連携とその見通しについて意見を述べるができる。				課題レポート	40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は各ユニットに対してレポートを課し、合算した点数により科目の成績とする。レポートのテーマや提出方法、フィードバック等については、各担当教員により授業内で指示する方法により行う。							
授業の概要							
本学4学科の専門分野の構成と研究アプローチの視点、社会的な活用状況、活躍する分野、課題についてユニット毎に概説し、分野間の連携事例等を提示し、専門分野に対するモチベーションや課題意識の向上を図る。 また、専門職連携で活躍する外部講師の話聞き、実社会で連携する場合の可能性や課題等について理解を深める。 ユニット毎に学際連携に関するテーマでレポートを課す。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。 参考書：特に指定しない。 指定図書：白幡洋三郎(1996)：『旅行のススメ-昭和が生んだ庶民の「新文化」-』中央公論社。(谷口担当分) その他、各担当教員により授業中に指示する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> 日頃から新聞・ニュース等を見聞きし、実際の地域の経済・文化・医療・福祉など「いのち、健康、暮らし」にまつわる情報や課題について関心を高めておく。 専門の異なる他学科の学生と交流することで、多様性を理解し、幅の広い視野を持つようにする。 学科間の結びつきや学問と職業のつながりを意識することで、卒業後に職業人として活躍することや専門職で連携をとることの意味を理解する。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	・コーディネータにより科目の目的、授業の進め方、受講する心構え、評価について説明する。 ・学長またはその代務者により、学際連携の意義や社会的な重要性、本学の可能性について講義する。	観光関連の書籍などを読み、次回の授業関連部分を予習すること。
2	《国際観光学科》 観光の定義	観光の定義と国際観光の現状について学ぶ。アラブ首長国連邦の事例を取り上げ、その観光事情を検討する。(谷口)	復習：国際観光に関するデータを確認する。
3	《国際観光学科》 日本における国際観光の歴史	日本における国際観光の歴史を概観する。事例として日本とハワイの関係をとり上げ、その観光事情を検討する。(谷口)	予習：ハワイへの日本人移民の歴史について調べる。
4	《国際観光学科》 ニューツーリズム	旅行者のニーズに合わせた観光を学び、ニューツーリズム（ヘルス・ツーリズム等）について考察する。(谷口)	予習：観光庁のホームページより、ニューツーリズムの事例を調べる。
5	《社会福祉学科》 生活保護の概要と面接技法	生活保護の概要と面接技法を学ぶ。(野田)	復習：生存権の保障や信頼関係の構築について考察する。
6	《社会福祉学科》 高齢者、ホームレス、成年後見制度と権利擁護	高齢者福祉、低所得者（ホームレス）、成年後見制度と権利擁護の制度と実際を学ぶ。(野田)	復習：高齢者や低所得者、権利侵害への支援について考察する。
7	《社会福祉学科》 母子家庭等、障害者（児）	母子家庭等、身体・知的・発達障害者（児）、精神障害者福祉の制度と実際を学ぶ。(野田)	復習：母子家庭等、障害者（児）への支援について考察する。
8	外部講師・ゲストスピーカーによる講話 1	観光や福祉分野で活躍する外部講師やゲストスピーカーにより実社会の現状や課題について話を聞く。	
9	《健康栄養》 食事バランス	食事バランスガイドを基に、食事のバランスについて学び、その量・質的偏りによる体への悪影響（生活習慣病など）を知り、その悪影響への地域の疾病対策について考える。(小田)	食事バランスガイドについて調べ（予習）、食生活をチェックする（復習）。
10	《健康栄養学科》 肥満の何が悪いのか？	地域、世代を超えて肥満者が増加している。人はなぜ肥満になるのか、肥満になると体の中でなにがおこるのか、効果的なダイエットについてなど解説する。(柴田)	自分の体形や、食事内容を振り返ってみる。
11	《健康栄養学科》 スポーツ・運動時の食事	スポーツおよび健康のための運動において、栄養・食事の果たす役割の大きさと重要性が認識されている。今回は、競技スポーツ実践者や心身の健康維持・増進のために運動を行っている者がどのような食事や栄養素を摂る必要があるか考える。(小田)	運動種目の違いにより、食事の摂り方がどう異なるか調べておく。
12	《薬学科》 健康診断の検査値の読み取り方	健康診断の検査値の読み取り方をそのもととなるからだの仕組みから検査値が変化する仕組みまで学ぶ。(高崎)	健康診断で目にする検査項目を調べておく。
13	《薬学科》 タバコについて	現在日本をはじめ世界各国で禁煙を促す取組みが行われている。本授業では、タバコの歴史、健康影響、対策、諸外国における規制などについて学ぶ。(出口)	タバコの利点・不利益などを予め調べた上で、タバコに対する自分の意見をもって授業に臨むこと。
14	《薬学科》 身近な医薬品について	近年、高齢化やスイッチ OTC など医薬品がより身近なものになってきている。本授業では、正しく医薬品を使用する方法について学ぶ。(岩永)	服用した医薬品について調べる。
15	外部講師・ゲストスピーカーによる講話 2	健康栄養や薬学分野で活躍する外部講師やゲストスピーカーにより実社会の現状や課題について話を聞く。	